

南砺市 交流観光まちづくり プラン

平成25年3月

～ 美しい田舎文化にじっくりとひたる ～

『 なんと！ **幸せ** の おすそわけ 』

はじめに

南砺市は、世界遺産に登録された五箇山合掌造り集落をはじめ、歴史と文化に裏打ちされた四季折々の祭りや多彩なイベント、伝統工芸など、豊富な観光資源を有しています。緑豊かな自然に囲まれたこの土地では、誇り高く心優しい人びとが、季節の移ろいを慈しみその恵みに感謝しながら、確かに豊かな暮らしを営んでいます。日本の原風景がここにあり、本物の生活文化が息づく“超一流の田舎”と言っても過言ではありません。

少子高齢化が進み、定住人口の減少により地域経済が縮小する中、地域の特性を生かした観光振興の役割が期待されており、交流人口の拡大を目指して全国の自治体において様々な取り組みが進められています。本市においても、平成18年3月に「南砺市観光マスタープラン」を策定し、市民や観光関連団体・商工関係者・行政等が一体となった観光振興に努めてきました。

一方、平成26年度末の北陸新幹線の開業をはじめ、東海北陸自動車道の南砺スマートIC(仮称)の開設や金沢井波線の整備など、市の交通環境は劇的な変化を遂げようとしています。また、近年の観光ニーズに対応し、体験交流型プログラムを開発する「南砺里山博」の展開や、越中飛騨観光圏をはじめ、北陸飛騨3つ星街道など広域連携による観光ルートの提案・情報発信など、ソフト面での変化も見逃せません。

このような状況を踏まえ、従来の観光という概念にとらわれず、交流を軸とした“交流観光”を推進していくため、「南砺市交流観光まちづくりプラン」を策定しました。

本プランは、平成25年度から10年間を計画期間とし、観光産業のみならず、農林商工業や文化などが幅広く交流観光産業として育まれるまちづくりの発想で、地域資源を活用した魅力づくりとおもてなしづくり、戦略的で効果的な情報発信などに取り組むこととしています。また、ただちに取り組むべき新規事業を「スタートアップ事業」として位置づけ、平成25年度から3年間で先行的に実施することにより、交流観光まちづくりのスピード感と実効性を高めます。

交流観光まちづくりの主役は、ほかならぬ市民の皆様です。市民一人ひとりが南砺の奥深い魅力を理解し、それを来訪者に伝えるというシンプルで力強い関係性が結ばれることにより、郷土に対する愛着とおもてなしの心が生まれ、人が人を呼ぶ交流観光が実現するものと考えます。

本プランが交流観光まちづくりを推進する原動力となり、市民の皆様との協働による様々な取り組みが展開されることにより、来訪者が愛すべき隣人として迎えられ、この土地に暮らすような旅を通じて、多くの南砺ファンやリピーターが生まれることを期待しています。

終わりに、本プランの策定にあたり貴重なご意見をいただきました方々や、ご指導ご尽力を賜りました関係者の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、本プランの推進と実現に向け、市民の皆様をはじめ多くの皆様方のご理解とご協力を切に願うものであります。

平成25年3月

南砺市長 田中 幹夫



目次



序章 プラン策定の基本視点

1 背景と目的	2
2 策定方針	3
3 プランの位置づけ	4
4 プランの期間	4

第1章 南砺市の観光の現況と課題

1 南砺市の概要	6
(1)位置・特性 (2)気候 (3)市の歴史 (4)産業 (5)交通	
2 観光環境の変化	8
(1)交通環境の変化 (2)観光需要の変化	
3 観光資源の特徴	10
(1)豊かな里山資源 (2)奥深い歴史資源 (3)芸術と文化資源	
(4)祭り・伝統行事・イベント (5)食文化・特産物 (6)体験交流	
4 市民・来訪者の観光動向	19
(1)全国的な観光動向 (2)南砺市の観光動向	
5 市民・来訪者意向調査	25
(1)観光ボランティアガイドからみた南砺市の観光	
(2)市民からみた南砺市の観光 (3)来訪者からみた南砺市の観光と交通	
6 観光の課題	34
(1)「南砺市観光マスタープラン(H18.3)」の検証 (2)これまでの取り組み	
(3)今後の取り組み課題	

第2章 プランの基本構想

1 めざしていくべき姿	38
(1)南砺市総合計画 (2)南砺観光マスタープラン (3)基本理念 (4)コンセプト	
2 プランの目標	42
(1)効果的な情報発信・誘客の推進 (2)南砺の魅力の創出	
(3)市民おもてなし環境の向上	

第3章 プランの実施戦略

1	基本方針	44
2	基本的戦略と施策一覧	45
3	情報発信	48
	(1) ターゲットを絞った重点情報発信 (2) 知られざる南砺の魅力提供	
	(3) プロモーション活動の推進 (4) 観光情報提供ツールづくり (5) 観光統計情報の充実	
4	魅力づくり	53
	(1) 広域観光の連携・強化 (2) 南砺流“体験型観光”のすすめ	
	(3) “食文化”のブランドイメージづくり (4) 泊まりたくなるまち・宿づくり	
	(5) 雪のまちの魅力づくり	
5	おもてなし	58
	(1) 住民のもてなし力づくり (2) もてなし拠点づくり (3) 交通ネットワークづくり	
	(4) 五箇山合掌造り集落の展開 (5) 地域学習活動のすすめ	

第4章 スタートアップ事業

1	スタートアップ事業一覧	64
2	事業企画プラン	66
	(1) 「南砺男子(仮称)」によるPR・案内作戦 (2) 伝道師による口コミ情報発信	
	(3) 観光インターネットサイトの充実 (4) 観光統計調査の実施	
	(5) 広域まちのコンシェルジュ事業 (6) “南砺のごはん”(地産地消)が楽しめる場の充実	
	(7) “金沢～南砺”旅プランづくり (8) 南砺ならではの“もてなしチーム”づくり	
	(9) 地域で支える子どもの「なんと学習」	

第5章 パワーオン事業

1	パワーオン事業一覧	76
2	事業展開プラン	78
	(1) インバウンド強化に向けた重点発信 (2) “北陸新幹線開業”に向けた重点プロモーション	
	(3) 北陸飛騨3つ星街道☆☆周遊ルートづくり (4) 総合観光案内拠点づくり	
	(5) 二次交通の整備促進 (6) 五箇山のんびりツーリズムの推進	
	(7) 「五箇山合掌の里」のリノベーション	

第6章 観光統計事業

1	観光統計調査手法の整理	86
	(1) 観光統計調査の目的 (2) 観光統計調査手法の検討 (3) 調査プロセス	
2	観光統計調査手法の設定	88
	(1) 観光地点等入込客数調査 (2) 観光地点パラメータ調査 (3) 統計量の推計方法	

第7章 プランの推進方法

1 交流観光まちづくりにおける役割	90
(1)推進体制 (2)役割	
2 プラン推進の流れと検証	92
3 事業の展開シナリオ・スケジュール	93

参考資料

1 策定経緯	2
2 策定体制	3
3 アンケート調査結果	6
4 リファレンス事業	24
5 観光統計調査手法検討資料	32
6 観光統計調査票	34

